

地域を担う人材育成のためのキャリアプランニング推進事業

2019年度要求・要望額 16,810千円

(前年度予算額 8,405千円)



【学校を核とした地域力強化プランの一部】

- ・補助事業者：都道府県・市区町村
- ・補助率：1/3 <配置人数：30人>

「キャリアプランニングスーパーバイザー（CPSV）」を教育委員会等に配置し、地元への愛着を深めるキャリア教育の推進等を通じ、地元就職し地域を担う人材を育成する。

まち・ひと・しごと創生総合戦略 2017改訂版（平成29年12月22日閣議決定）

Ⅲ. 3. (2) (ウ) ③地元学生定着促進プラン

地元就職に資するキャリア教育の推進や大学進学等を機に **地元を離れる高校生を対象とした地元企業へのインターシップ推進**

まち・ひと・しごと創生基本方針 2018（平成30年6月15日閣議決定）

Ⅲ 3 (1) ④地方創生に資する高等学校改革の推進

- ・高等学校は、地域人材の育成において極めて重要な役割を担うとともに、**高等学校段階で地域の産業や文化等へ理解を深めることは、その後の地元定着やUターン等にも資する。**
- ・高等学校が地元市町村・企業等と連携しながら、高校生に地域課題の解決等を通じた探究的な学びを提供するカリキュラムの構築等を行う取組を推進するとともに、進路決定後の期間を利用したインターンシップの充実等を通じて地元の根ざした人材の育成を強化する。

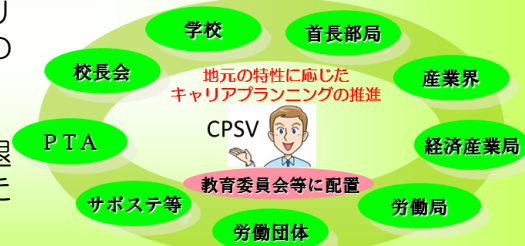
Society 5.0に向けた人材育成～社会が変わる、学びが変わる～（平成30年6月5日 大臣懇談会・省内タスクフォース決定）

第3章 (3) ②地域の良さを学びコミュニティを支える人材の育成

高等学校と地元市町村・企業等の連携により、地域課題の解決等の探求的な学びを実現する仕組みの構築や、進路決定後に地元を離れる生徒も対象としたインターンシップを促進

〔取組事例〕

- 小・中・高等学校を通じ、地元への理解や愛着を深めるキャリア教育の推進
- 職場体験やインターンシップの受入れ先の開拓及び学校と企業等とのマッチング
- 教職員及び学校に配置された外部人材への支援・相談・情報提供
- 生徒へのキャリアカウンセリングや企業の情報提供などの就労支援
- 高校や地域若者サポートステーション等と連携し、中退者や高校卒業後早期離職した者等への就労支援

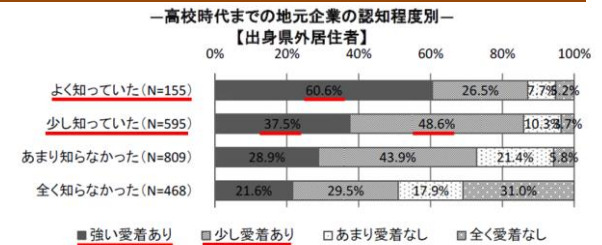


(地域におけるキャリア教育推進のための協議会)

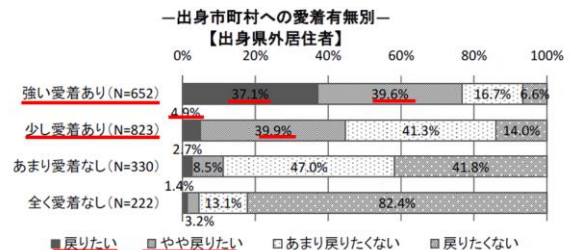
キャリア教育の推進等を通じ、**地元就職し地域を担う人材の育成を図る**

(参考) 出身市町村へのUターン希望状況

出身市町村への愛着



出身市町村へのUターン希望



高校時代までに(転出前に)地元企業を知ったことが、転出後も出身地への愛着として残り、Uターン希望につながっていることがうかがえる。
※「地方における雇用創出・人材還流の可能性を探る(独立行政法人労働政策研究・研修機構)」をもとに作成